Ⅰ　事 業 報 告 書

１．一般概況

（１）　とうもろこしの国際需給の動向

2025/26年度の生産量は、世界全体で前年度比5.4%増の12億9,744万トン、消費量は、世界全体で対前年度比4.0%増の13億51万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は、対前年比1.0%減の２億9,275万トンで、期末在庫率は、前年度を1.2ポイント下回る22.5%と見込まれている。

2025/26年度の米国産とうもろこしの生産量は、対前年度比14.3%増の４億3,234万トンと見込まれている。需要量は、米国の飼料向け需要、輸出等とともに増加し、対前年度比8.9%増の４億1,835万トンと見込まれ、この結果、期末在庫量は、対前年度比37.1%増の5,402万トン、期末在庫率は、前年度を2.6ポイント上回る12.9%と見込まれている。作付面積は、対前年度比10.0%増の3,695万haと増加し、単収は前年度比4.0%増の11.7トン/haと見込まれている。

（令和８年３月11日公表のUSDA需給報告時点）

（２）　国内の配合飼料生産の動向

令和６年度の配合飼料生産量は、2,335万トンで対前年度比99.5%となり、畜種別では、養鶏用（前年度比100.7%）において増加し、養豚用（同97.8%）、乳牛用（同99.8%）及び肉牛用（同98.9%）については、微減した。

令和７年４月～令和７年12月の配合飼料生産量は、1,725万トン、対前年度同期比97.8%となっており、畜種別では、養鶏用（前年度比98.7%）、養豚用（同98.1%）、乳牛用（同97.7%）及び肉牛用（同95.8%）のいずれも、微減した。

（３）　価格の動向

①　とうもろこしのシカゴ相場

とうもろこしのシカゴ相場については、令和７年３月には460セント／ブッシェル前後で推移していたが、米国産地で生育に適した天候が続いたことなどから、８月には380セント／ブッシェル台まで下落した。その後、生育後期の高温乾燥による単収の低下懸念や好調な輸出需要などにより、12月には440セント／ブッシェル前後まで上昇した。令和８年１月の米国需給見通しで生産量が市場予想を上回ったことなどから420セント／ブッシェル台まで下落したものの、米国産とうもろこしの好調な輸出需要や中東情勢の緊迫化を受けて460セント／ブッシェル前後まで上昇し、令和８年３月末では、450～460セント／ブッシェル程度で推移している。

②　フレート

米国ガルフ/日本間の海上運賃は、令和７年度当初45ドル/トン前後で推移していたが、中東情勢の緊迫化を受けた原油相場の高騰、長期航海となる中国向けの南米産穀物の輸送需要の増加による船腹需給の引き締まり等により、９月中旬には一時60ドル/トン台まで上昇した。その後、南米産穀物の輸送需要が一服したものの、堅調な動きにより、令和８年３月末では58ドル/トン前後で推移している。

③ 為替レート

外国為替は、令和７年３月には、１ドル 149 円前後で推移していたが、米国の関税政策による米国の景気悪化懸念等により４月中旬に１ドル 139 円台まで円高が進んだものの、米国でのインフレ傾向の継続や日銀の利上げに対する慎重姿勢などから、８月には１ドル 150 円台まで円安が進んだ。１月中旬には衆議院解散報道を受けて積極財政政策が進むとの見方から、１ドル 159 円台まで円安が進み、その後、日米当局による為替介入観測から２月中旬には、１ドル 153 円前後まで円高となった。３月上旬には中東情勢の緊迫化を受けて円安が進み、１ドル 159 円前後となり、令和８年３月末では１ドル 159 円前後で推移している。

④ 配合飼料価格

令和７年度の配合飼料価格は、とうもろこしの豊作等を反映して概ね低下傾向で推移してきたが、令和８年１月以降は、シカゴ相場の上昇、海上運賃の上昇及び円安などから上昇傾向で推移した。

２．入会預り金の状況

令和７年度においては、会員及び会員からの入会預り金に異動はなかった。令和８年３月 31 日現在の入会預り金の状況は、次のとおりである。

会員別	入会預り金口数	入会預り金額
	口	千円
(独)農畜産業振興機構	8,000	800,000
(一社)全国配合飼料供給安定基金	1,268	126,800
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	113	11,300
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	1,613	161,300
全国農業協同組合連合会	798	79,800
全国酪農業協同組合連合会	39	3,900
全国畜産農業協同組合連合会	1	100
全国開拓農業協同組合連合会	1	100
日本養鶏農業協同組合連合会	1	100
(協)日本飼料工業会	1,166	116,600
計 10 団体	13,000	1,300,000

３．業務運営

（１） 配合飼料価格安定対策事業（公益目的事業１）

① 交付契約数量

令和７年度の各契約基金との異常補塡交付金交付契約数量は、当初 23,752,200 トンであり、基金別では、全国配合飼料供給安定基金 6,744,292 トン、全国畜産配合飼料価格安定基金 1,201,824 トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金 15,806,084 トンであった。

９月に各基金間移動に伴う交付契約数量の変更を行った結果、全国配合飼料供給安定

基金 6,744,356 トン、全国畜産配合飼料価格安定基金 1,202,236 トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金 15,805,608 トンとなり、総交付契約数量に変更はなかった。

② 特例補塡交付金交付事業

令和７年度においては、特例補塡交付金の交付要件には該当せず、特例補塡交付金の交付は行わなかった。

（２） 調査事業（公益目的事業２）

飼料製造工場を対象に、飼料生産・出荷・在庫動向、工場渡価格、原料使用量、都道府県別生産量、都道府県別出荷先別出荷量等を毎月調査するとともに、飼料穀物の国際需給、価格、フレート等配合飼料に関連するデータを取りまとめ、「飼料月報」として毎月発行した。

４． 会議の開催

（１） 総会

① 第 51 回定時総会　令和７年６月 20 日開催

第１号議案　役員の選任について

報告事項　令和６年度事業報告及び決算について

② 臨 時 総 会　令和８年３月 25 日開催

第１号議案　理事の報酬総額及び監事の報酬総額（案）について

第２号議案　公益社団法人配合飼料供給安定機構非常勤役員交通費支給基準の一部変更（案）について

報告事項　令和８年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

（２） 理事会

① 第 306 回理事会　令和７年６月４日開催

第１号議案　令和６年度事業報告及び決算について

第２号議案　役員の選任（候補）について

第３号議案　第 51 回定時総会の開催について

② 第 307 回理事会　令和７年６月 23 日（書面）

石木俊治を代表理事に選定し、理事長とすること及び長谷川博章を業務執行理に選定し、専務理事とすることについて、令和７年６月 23 日に理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、機構定款第 38 条第２項に基づき理事会の決議があったものとされた。

③ 第 308 回理事会　令和８年３月６日開催

第１号議案　令和８年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み（案）について

第２号議案　　理事の報酬総額及び監事の報酬総額（案）について
第３号議案　　公益社団法人配合飼料供給安定機構非常勤役員交通費支給基準の一部変更（案）について
第４号議案　　会計監査人の報酬（案）について
第５号議案　　臨時総会について
報告事項　　令和７年度下期における職務執行状況報告について

（３） 運営委員会
今年度は開催しなかった。

５． 役員の異動

（１）理　事

令和７年６月 20 日

再任	由　井	琢　也（全国農業協同組合連合会）
再任	隈　部	洋　（全国酪農業協同組合連合会）
再任	杉　原	健　一（日本養鶏農業協同組合連合会）
退任	庄　司	英　洋（協同組合日本飼料工業会）
就任	宮　内	和　広（協同組合日本飼料工業会）
再任	石　木	俊　治（(公社) 配合飼料供給安定機構）
再任	長谷川	博　章（(公社) 配合飼料供給安定機構）

令和７年６月 23 日

再任	石　木	俊　治　理事長
再任	長谷川	博　章　専務理事

（２）監　事

令和７年６月 20 日

再任	村　尾	誠　（日本食肉流通センター卸売事業協同組合）
退任	三　浦	康　治（全国農業協同組合連合会）
就任	飯　島	洋　一（全国酪農業協同組合連合会）

６．事業報告の内容を補足する重要な事項

令和７年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第３項に規定する附属明細書の内容とすべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。

＜　（参考）主要業務処理事項　＞

年月日	業　　務　　内　　容
2025	
4.9	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和7年度肥育牛経営改善等緊急対策事業(配合飼料価格安定制度運営基盤強化緊急対策事業)の補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費　1,318,953千円 補助金の額　1,318,953千円
〃	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和 7 年度配合飼料価格安定制度運営基盤強化事業の補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費　276,159千円 補助金の額　276,159千円
4.14,15	文野清正会計監査人(公認会計士)に、令和6年度の決算について監査を受けた。
4.22	村尾誠監事、三浦康治監事に、令和6年度の決算について監査を受けた。
6.4	第306回理事会を開催した。
6.20	第51回定時総会を開催した。
6.23	第307回理事会を開催した。(書面)
12.18	文野清正会計監査人(公認会計士)に、令和7年度の決算に関する中間監査を受けた。
2026	
3.6	第308回理事会を開催した。
3.18,23	文野清正会計監査人(公認会計士)に、令和7年度の決算に関する中間監査を受けた。
3.25	臨時総会を開催した。

会　　員　　名　　簿

令和８年３月 31 日現在

会　　員　　名	代 表 者 氏 名	住　　所
(独)農 畜 産 業 振 興 機 構	理 事 長 天 羽　隆	東京都港区麻布台 2-2-1
(一社)全国配合飼料供給安定基金	理 事 長 八木岡　努	東京都千代田区内神田 1-4-1
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	理 事 長 隈 部　洋	東京都渋谷区代々木 1-37-2
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	理 事 長 宮 内 和 広	東京都港区麻布台 2-2-1
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会	経営管理委員会会長 折 原 敬 一	東京都千代田区大手町 1-3-1
全 国 酪 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 会　長 隈 部　洋	東京都渋谷区代々木 1-37-2
全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 会　長 加 藤 義 康	東京都中央区新川 2-6-16
全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 会　長 新 津 賀 庸	東京都千代田区平河町 1-2-10
日 本 養 鶏 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 会　長 杉 原 健 一	東京都千代田区神田須田町 1-7
(協)日　本　飼　料　工　業　会	会　長 宮 内 和 広	東京都港区麻布台 2-2-1

役　　員　　名　　簿

令和８年３月 31 日現在

役　職　名	氏　　名	所　　属
理　事　長	石 木 俊 治	(公社)配合飼料供給安定機構
専 務 理 事	長谷川 博 章	(公社)配合飼料供給安定機構
理　　事	由 井 琢 也	全国農業協同組合連合会 常務理事
理　　事	隈 部　洋	全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長
理　　事	杉 原 健 一	日本養鶏農業協同組合連合会 代表理事会長
理　　事	宮 内 和 広	(協)日本飼料工業会 会長
監　　事	村 尾　誠	日本食肉流通センター卸売事業協同組合 専務理事
監　　事	飯 島 洋 一	全国酪農業協同組合連合会　総務部長

運 営 委 員 名 簿

令和８年３月 31 日現在

氏　　名	所　　属　　職　　名
中　山　俊一郎	（一社）全国配合飼料供給安定基金 常務理事
大　森　一　幸	（一社）全国畜産配合飼料価格安定基金 専務理事
引　地　和　明	（一社）全日本配合飼料価格畜産安定基金 常務理事
佐　藤　哲　誠	全国農業協同組合連合会 畜産生産部推進・商品開発課課長
鈴　木　有希津	全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部長
松　本　康　志	全国畜産農業協同組合連合会 事業部次長
臼　井　靖　彦	全国開拓農業協同組合連合会 事業推進部長
鈴　木　崇　之	日本養鶏農業協同組合連合会 事業部次長
髙　橋　　洋	（協）日本飼料工業会 専務理事